

昭和女子大学(学部入学定員:1,067人)

[取組学部・研究科等: 人間文化学部(435人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

「3C's for 1G」 = グローバル社会の様々な分野で実務的役割を担える創造的で活力のある女性職業人の育成

【構想の概要】

- ・全学的な外国語英語科目を再編し、学部共通プログラムとしてボストン留学を配置、その先の海外大学への留学を奨励。
- ・東京とボストンの二つのキャンパスで、外国人学生との協働プロジェクトを通じた実践型の学習。
- ・海外協定校の開拓と受入留学生の拡大によるキャンパスのグローバル化の促進。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

日英併記によるシラバスの充実、ナンバリングの導入、アクティブラーニングの推進など、教育課程の国際通用性を高めると同時に、東京・ボストンの二都市で学生間の多文化協働プロジェクトを実践し、学生の主体的な学習の実現を目指します。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

留学生を対象に、生活支援、シラバスや単位修得の方針など教育内容に関する項目、進路等の情報提供を多言語で行います。また教育活動の規模や内容、年度報告等の主要情報を日英併記で公開します。

○ 事務体制のグローバル化

国際交流センターを中心に、大学のグローバル化を全学で徹底するとともに、諸規定、事務書類、学内掲示等の英語併記に努めます。またボストンでの教職員研修を通じて、グローバル人材としての職員の育成を目指します。



〈昭和ボストンの春〉

■ グローバル人材として求められる能力の育成

○ 昭和ボストンでの15週間+4週間の実践型プログラム

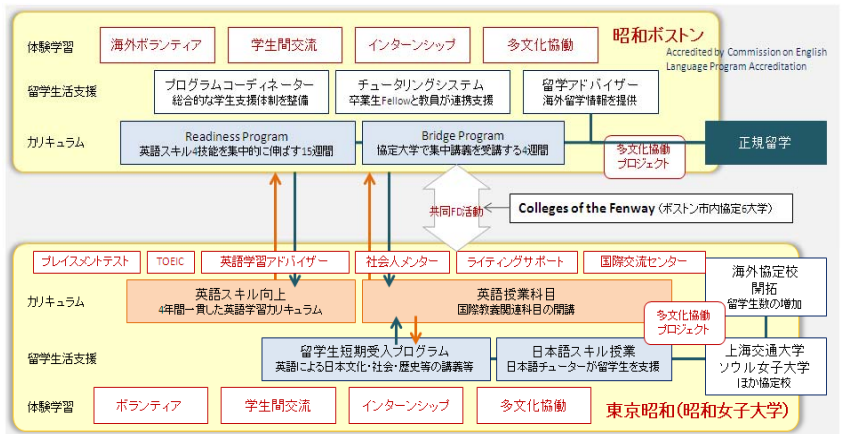
15週間のReadiness Program(英語+選択科目群履修)と、4週間のBridge Program(ボストン近郊大学と連携した集中講義)を柱に、地元大学生とのグループワークである「多文化協働プロジェクト」、コミュニティーサービス、インターンシップなどの実践的学習を行います。

○ 世田谷キャンパスでのグローバルなプログラム

1年次から4年次まで一貫した英語スキルカリキュラムを導入し、コミュニケーション力を育成します。また英語による専門科目と外国人留学生用短期プログラムの設置を通じて、外国人留学生と英語で意見交換し合うアクティブな教育を行います。

○ アジア圏を中心とする他地域での留学プログラムの拡大

韓国・中国をはじめとするアジア圏の協定校への留学促進と、短期実習プログラムを充実させます。また協定校の卒業生の編入や大学院への受入れを積極的に行い、単位互換制度に基づく5年間プログラムなどの共同プログラムを開発します。



〈プログラム概念図〉

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

高い英語能力や海外留学経験のある受験者を入学させるため、特別選抜枠の入試を実施します。また高校留学経験者に関しては、留学時の学習成果を評価します。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

入学時に学部全員の英語プレースメントテストを行い、レベル別クラスを編成します。その後はボストンと連携しながら4年間にわたって英語スキルをレベルアップさせ、英語学習アドバイザーによる指導、論文指導、英語で行われる専門科目の履修を通じて、各自の能力にあった目標設定とその達成を目指します。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

言語系、社会科学系、ビジネス系学科を中心とした外国人教員や外国で教育経験のある日本人教員の積極的な採用、海外協定校からの教員受入などを通じて、教育体制のグローバル化を図っていきます。

○ グローバル教育力向上のための取組

ボストン市内大学の教員や専門職の意見を参考に、多文化間コミュニケーションを活性化させる指導などのテーマでFD活動を行います。また海外協定校に本学から教員を派遣し、教員のグローバル教育力を高めます。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

国際交流センターの機能を充実させ、留学アドバイザー等の専門職の配置、留学情報の配信、面談室や資料の整備などを通じて学生の利用を促進させます。また昭和ポストンでのフェロー（本学OGの米国大学生）の配置、社会人メンター制度を利用した留学経験者の配置などにより、学生が留学を身近に感じられる環境をつくります。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

昭和ポストンや上海協定校では専門スタッフにより留学中の学生をサポートします。また留学前オリエンテーションや留学中のメンタル相談窓口などにより、留学中の学生の安全管理に努めます。帰国後は留学経験を就職に活かすための取組を行います。

< 参考 >

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

本学では社会で必要となる基礎的能力や態度を「夢を実現する7つの力」として学生に示しています。この「7つの力」の一つである「グローバルに生きる力」を発展させることで、「3C's for 1G」の能力を育成します。

1. 文化的背景の異なる他者と協働する能力 (Collaborate)
2. 様々な異なる人・価値・文化・物を結びつける能力 (Connect)
3. 新しい価値や文化を創造する能力 (Create)
4. 身の回りの問題をグローバルに考えて行動する能力 (Glocal)
5. 業務に必要なレベルの外国語が使える。(外国語を使う力)
6. 信頼性の高い情報入手・分析し、複数言語で情報発信できる (ITを使いこなす力)

今後ますますグローバル化が進む国内外の社会で、学生がこれらの能力を高いレベルで修得することを目指します。

本構想において実現する達成目標		2011	2012	2013	2014	2015	2016
全学							
	外国語力スタンダードを満たす学生数			45人	50人	60人	80人
	うち海外留学未経験者数 (A)			40人	35人	20人	25人
	海外留学経験者数 (B)	5人	56人	75人	80人	100人	110人
	卒業[予定]者数 (C)	457人	520人	571人	518人	486人	500人
	比率 ((A+B)/C)			20.1%	22.2%	24.7%	27.0%
人間文化学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEIC 700		45人(40)	50人(35)	60人(20)	80人(25)
	海外留学経験者数	5人	56人	75人	80人	100人	110人
	3カ月未満	5人	10人	15人	15人	30人	35人
	3カ月～1年	0人	46人	60人	65人	70人	75人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	卒業[予定]者数	457人	520人	571人	518人	486人	500人

※1)「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。